

アフリカマイマイを見たら

- 寄生虫がいるので、素手でさわらないでください。
- 野菜の茎や葉などを食べる害虫です。
- 殻の大きさは15cmにもなります。

－ 農薬以外の防除方法 －

素手でさわらにようにゴム手袋やトングを使ってビニール袋に入れて密閉し、燃えるゴミに出してください。

(詳しくは各自治体のゴミ収集分別ルールをご確認ください)

日中は暗く湿潤な雑草地・資材の下などに潜んでいますので、それら好適な環境を減らしてください。

●アフリカマイマイとは

東アフリカ原産の陸産巻貝で、沖縄県には1930年代に薬用・食用として持ち込まれました。

現在では、沖縄県のほぼ全域に生息しています。

そ菜類をはじめとする農作物に大きな被害を与えるだけでなく、広東住血線虫(かんとんじゅうけつせんちゅう)という寄生虫の中間宿主としても知られ、保健衛生上も有害な動物です。

アフリカマイマイのまん延防止のため未発生地域(本土)への持ち出しが法律で規制されています。

3月から11月にかけて活動します。そ菜類や動物の死骸などを食べる雑食性です。繁殖力が強く、産卵は5～11月にかけて数回行い、50～150卵を枯れ葉の下や土中にかためて産みます。



アフリカマイマイ



アフリカマイマイに似ていて間違いやすい

スクリンゴガイ

基本的に夜行性で、乾燥している時は枯れ草や生垣の下などに隠れていますが、雨が降ると動き回って餌を食べます。

<お問い合わせ先>

沖縄県病害虫防除技術センター

〒902-0072 沖縄県那覇市真地123番地

TEL. (098)886-3880 FAX. (098)884-9119